



▲スポーツ健康フェスティバル

また、市内には、各種競技スポーツの後援会が組織されていますので、競技スポーツの振興と地域の活性化を目指し、温泉や医療施設を活用したスポーツ合宿などの誘致ができるよう、関係機関や団体との協議を進めます。

また本年は、登別出身の言語学者『知里真志保』生誕100年の記念の年を迎えますので、登別の歴史とアイヌ文化への理解を深める機会ととらえ、北海道ウタリ協会登別支部とともに、記念フォーラムや資料などの巡回展を開催します。

◎学校給食

栄養基準を満たした、安全で安心な給食の提供に努めています。昨年引き続き、賄い材料の価格上昇が続いており、本年度も給食費を改定することとしました。ご理解をお願いいたします。

◎市立図書館

生涯学習の情報拠点として、図書資料などの整備充実を図るとともに、市民団体や図書館ボランティアと連

携し、図書館活動の充実に努めます。



▲市立図書館

◎教育施設の整備

市民会館の外壁などの補修・塗装および大ホール調光機器の更新、給食センター食器洗浄機の取り替え、市立図書館児童スペースの拡充を図ります。

また、富岸小学校屋体の改修、幌別東小学校ほか4校のトイレの洋式化、西陵中学校グラウンドフェンスの改修工事を行うとともに、学校の耐震化については、本年度より優先順位に応じて耐震診断を実施します。

二 おわりに

社会が急速に変化する中、地域の特性を生かした『まちづくり』を推進するためには、教育の果たす役割はますます重要となつてきています。教育委員会としては、次代を担う子どもたちの健やかな成長と市民一人一人が豊かな心と創造性をはぐくむ『人づくり』を目指し、市長部局との連携を深め、教育の振興に全力を挙げて取り組みます。

市民の皆さん、市議会議員の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

市民と行政による協働のまちづくり

平成21年度予算

全会計総額

平成21年度の各会計（一般会計、8特別会計、水道事業会計）の予算の総額は、335億1千360万円。平成20年度の当初予算と比較すると、4.2%の減となりました（13頁表1参照）。

平成20年度当初予算と比較すると、一般会計が2.8%の減、特別会計が5.8%の減、水道事業会計が6.1%の減となりました。

現在、市の財政は、市税収入の落ち込みや市債償還の高止まりなどにより大変厳しい状況にあり、『中期財政見通し』（平成19年度～22年度）で見込まれた収支不足額の累計28億2千万円を解消するため、昨年に引き続き『財政健全化に向けた取り組み』を進めています。

平成21年度の予算は、大型建設事業などを抑制するとともに、人件費をはじめとする経費全般に渡る徹底した節減合理化や、事務事業の見直しなどによる効果を予算に反映しつつ、『明日のまちづくり』に向け、特別枠を設けるなど、縮減のみに終始することのない予算計上を行いま

した。

一般会計歳入

主な歳入（表13頁表2参照）では、市税が前年度比4.8%減の53億6千477万円、地方交付税は対前年度比1.8%増の51億6千600万円をそれぞれ見込みました。

市債は、地方交付税の振り替えである臨時財政対策債6億8千万円を含む、10億6千210万円を計上しています。

なお、財政調整基金や減債基金、北海道市町村備荒資金組合超過納付金から、合わせて6億1千万円を取り崩すことで財源不足を補うこととしました。

一般会計歳出

歳出（表13頁表2参照）は、総務費が西いぶり広域連合共同電算事業負担金で増加しましたが、戸籍電算化事業の終了などで、ほぼ前年度並みの7億3千301万円となりました。

民生費は、地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金や、後期高齢者を対象とした短期人間ドックや脳ドックの受診、水中運動教室への参加